

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-34	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 728	新財務会計 I		

## 1. 編修の基本方針

- 基礎項目から応用項目へと段階を追って学習できるよう構成することで、幅広い知識や技術を確実に習得できるよう配慮する。
- 本文は例題を中心とした展開とし、段階的に練習問題を配置することで、無理なく技術の定着をはかれ、自ら学ぶ主体的な学習や系統的な反復学習もできるよう配慮する。
- 学習要素や例題の解説などではイラストや図解を用い、学習者が具体的にイメージしやすいよう配慮する。
- 実務やその歴史に関わる教材を積極的に取り入れ、職業及び生活との関連に配慮する。

## 2. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し、口絵	職業及び生活との関連を重視し、 勤労を重んずる態度を養うという 観点から、企業のグループ化と連 結財務諸表の開示について、実際 の企業や団体のイメージ写真を交 えて扱った（第2号）。	①～②頁 (特集1)
	幅広い知識と教養を身に付け、真 理を求める態度を養うという観 点、また創造性を培い、自主及び 自律の精神を養うという観点か ら、複数の箇所や章にまたがって 展開されている学習要素を本文と は別の視点からまとめた教材や、 公式・計算式の一覧、勘定科目・ 表示項目の一覧などを扱った（第 1号、第2号）。	③～⑥頁 ⑩～⑫頁 (特集2～3) (特集6～7)
	我が国の伝統と文化を尊重する という観点、他国を尊重し、国際 社会の平和と発展に寄与する態度 を養うという観点から、自国も含 めた世界的な簿記・会計の歴史を 扱った（第5号）。	⑦～⑨頁 (特集4～5)
まえがき	個人の価値を尊重して、その能力 を伸ばし、創造性を培い、自主及 び自律の精神を養うという観点、 また、公共の精神に基づき、主体 的に社会の形成に参画し、その発 展に寄与する態度を養うという観 点から、本書の学習を通じて、学 習者が社会で活躍することについ ての期待を述べている（第2号、 第3号）。	2頁12～17行目
第1編	創造性を培い、自主及び自律の精 神を養うとともに、職業及び生活 との関連を重視し、勤労を重んず	7頁

	<p>る態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、植物が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。</p>		
	<p>財務会計の基礎と株式会社制度の特徴についての幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。</p>	8～26頁	
	<p>我が国の伝統と文化を尊重するという観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、自国も含めた世界的な会計の歴史を扱った（第5号）。</p>	15～17頁	
	<p>幅広い知識と教養を身に付けるという観点、また、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた（第1号、第2号）。</p> <p>さらに、伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、この「会計コラム」において企業会計原則や国際会計基準について扱った（第5号）。</p>	26頁15～29行目	
第2編	<p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、植物が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。</p>	27頁	
	<p>貸借対照表とそれを構成する項目の会計処理に関する幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。</p>	28～150頁	
	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるよう配慮した（第1</p>	<p>39頁3～11行目 70頁1～23行目 74頁7～17行目 75頁6～14行目 78頁20～30行目</p>	

	号)。	100頁14～21行目 112頁1～5行目 115頁13～17行目
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるように配慮した(第1号)。	128頁8～14行目 158頁7～10行目 160頁 166頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点、また、創造性を培い、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた(第1号、第2号)。 さらに、伝統と文化を尊重するという観点から、この「会計コラム」において歴史的な日本の会計の変化について扱った(第5号)。	147頁8～21行目
第3編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、植物が成長していく様子も描いた(第2号、第3号、第4号)。	151頁
	損益計算書とそれを構成する項目の会計処理に関する幅広い知識と教養を取り上げた(第1号)。	152～194頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点、また、創造性を培い、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた(第1号、第2号)。 さらに、伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、この「会計コラム」において収益認識に関する会計基準について扱った(第5号)。	163頁

	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるように配慮した（第1号）。	178頁 189頁	
第4編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、植物が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	195頁	
	役務収益・役務原価、外貨建取引、税効果会計についての幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。	196～212頁	
第5編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、植物が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	213頁	
	財務諸表の活用についての幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。	214～238頁	
	自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、地域社会が「自然環境の保全」について企業に関心を持っている旨を、図中で示した（第4号）	214頁	
	職業及び生活との関連を重視するという観点から、連結財務諸表の例および総合問題中の財務諸表について、実際にEDINETなどで入手する財務諸表に近い形式で示した（第2号）。	235～237頁	
発展編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、	239頁	

	正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，主体的に社会の形成に参画するという観点から，編とびらのテーマを若い男女が起業し，周囲と関わりながら会社を大きくし，自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び，自然を大切にするという観点から，植物が成長していく様子も描いた（第2号，第3号，第4号）。		
	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から，第5編に関連した発展的な学習内容を扱う「発展編」として独立させた（第1号）。	239～255頁	
	幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養うという観点から，囲み記事「特別講義」を設け，本文の内容を別の角度から解説することなどにより，さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるよう配慮した（第1号）。	246頁1～17行目	
総合演習	個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うという観点から，これまでの学習を総合して確認できる演習問題を設けた（第2号）。	256～260頁	
ADVANCE	個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うという観点から，対話形式の文章や調べ学習を通じて積極的・能動的な学習ができるADVANCEを設けた（第2号）。	261～268頁	
	主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うという観点から，インターネットを用いた財務諸表の閲覧について扱った（第3号）。	264～265頁	
折り込み	職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うという観点から，会社計算規則による財務諸表の例や架空の株式会社の決算に関する手続きと記帳の流れについて扱った（第2号）。	折り込み1～8	

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，全編カラーページとし，視覚的な学習効果をはかった。また，カラーユニバーサルデザインを採用し，すべての学習者が使いやすいように配慮している。
- 外国の文化の理解を通じて，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から，国際的にも使われる重要用語については，英字表記を併記した。
- 生活に必要な国語を正しく理解し，使用する基礎的な能力を養うという観点から，読みにくいと思われる用語や科目特有の専門用語についてはふりがなを併記した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-34	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 728	新財務会計 I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 本書は、「財務会計 I」を履修する学習者のために、財務諸表の基礎を理解し、適切な会計情報を提供でき、会計情報を効果的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目的として編修した。この目的を効率よく達成できるようにするため、次のように体系的に構成してある。
- (a) 全体を「第1編 財務会計の基礎」、「第2編 貸借対照表」、「第3編 損益計算書」、「第4編 その他の会計処理」、「第5編 財務諸表の活用」の5編および「発展編 連結財務諸表の作成」を加えた計6編に分け、編ごとにステップをふみながら、まとまりのある学習ができるようにした。
- (b) 学習指導要領の内容「(2)会計処理」および「(3)財務諸表の作成」については、教材の内容と財務諸表の関連性を考慮し、「第2編 貸借対照表」、「第3編 損益計算書」というように構成し、会計処理と財務諸表の構成要素の関係を示すことで、財務諸表の基礎を学習しやすくなるよう配慮した。その際、「(2)会計処理」のうち、履修する学習者にとって、発展的な学習内容を「第4編 その他の会計処理」で扱い、編ごとにステップを踏みながら、まとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 本書では、本文中には「例題」、各章末には「基本問題」と「演習問題」の二段階の練習問題、必要に応じて編末に「総合問題」、さらに巻末には、二つの「総合演習」を設けた。これによって、個々の学習事項の確実な理解から、手続きの全体的な流れや各種財務諸表間の関係等の理解、そして、正確で迅速な技能の習得までを段階的に学習することができ、系統的な反復学習にもより対応できるよう配慮した。
- (3) 本書では、本文の内容を別の角度から解説するなど、さらに幅広く発展的な内容に対応する囲み記事「特別講義」を設け、学習者が本文の理解をより深められるよう配慮した。
- (4) 本書では、学習内容の実生活・実社会への関連付けや、なぜ学ぶのかという目的意識を明確にさせることを目的として、授業の話題作りにできるような囲み記事「会計コラム」を設け、他科目への橋渡しとしても使えるよう配慮した。
- (5) 本書では、対話形式や調べ学習を取り入れ、主体的・対話的な学びに配慮した「ADVANCE」を設けた。
- (6) 本書は以上のほかに、次のような配慮をして、学習の視覚的効果をはかった。

- (a) 大きな判型により、各財務諸表および帳簿類や図解を見やすくした。また、必要に応じて見開きで大きく図解を示し、流れなどがよりわかりやすくなるよう工夫した。
- (b) 全編カラーユニバーサルデザインを採用したカラーページとし、色分けなどにより、学習要素やその関連性がより分かりやすくなるように工夫した。
- (c) 本文の内容を助けるイラストや、キャラクターによる吹き出し解説を取り入れ、学習者が親しみをもてるようにした。
- (d) 章タイトルには本章のポイントを設け、該当の章で何を学ぶべきか、何ができるようになるべきかをはっきり認識できるようにした。また、適宜簡略化した貸借対照表および損益計算書を設け、該当の章で学ぶ会計処理が、どの区分に属しているのかを常に意識できるようにした。
- (e) 本文の奇数ページにインデックスを設け、学習者が今「どの段階」で「何を学んでいるか」をはっきり認識できるようにした。
- (f) 基礎的な内容である第1～4編、応用的内容である第5編および発展編について、それぞれ章タイトルなどのメインカラーを決め、見た目にも分かりやすくした。
- (g) 特集ページ（前後見返し含む）・折り込みでは、各編の代表的な教材、まとめとなる教材、興味を喚起する教材などをとりあげ、効果的な学習の一助となるよう工夫した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規	(1) 財務会計の概要 ア 企業会計と財務会計の意義・役割 イ 財務諸表の構成要素 ウ 会計法規と会計基準	7～26頁	3 3
第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価 第5章 流動資産（PART 1）当座資産 第6章 流動資産（PART 2） 棚卸資産・その他の流動資産 第7章 固定資産（PART 1）有形固定資産 第8章 固定資産（PART 2）無形固定資産 第9章 固定資産（PART 3）投資その他の資産 第10章 負債の意味と分類 第11章 流動負債 第12章 固定負債 第13章 純資産の意味と分類	(2) 会計処理 ア 資産と負債 イ 純資産 (3) 財務諸表の作成 ア 資産・負債・純資産に関する財務諸表	27～150頁	1 2 6 6 6 4 4 1 3 4 1

第14章 資本金			2
第15章 資本剰余金			4
第16章 利益剰余金			3
第17章 自己株式			2
第18章 新株予約権			2
第19章 貸借対照表の作成			4
総合問題 (第2編)			1
第3編 損益計算書	(2) 会計処理	151～194頁	
第20章 損益計算書のあらまし	ウ 収益と費用		1
第21章 損益計算の意味と基準	エ 税		2
第22章 売上高	(3) 財務諸表の作成		3
第23章 売上原価, 販売費及び一般管理費	ア 資産・負債・純資産に関する財務諸表		2
第24章 営業外収益・営業外費用	イ 収益・費用に関する財務諸表		2
第25章 特別利益・特別損失			2
第26章 損益計算書の作成			4
第27章 その他の財務諸表			2
総合問題 (第3編)			1
第4編 その他の会計処理	(2) 会計処理	195～212頁	
第28章 役務収益・役務原価	ウ 収益と費用		2
第29章 外貨建取引	エ 税		3
第30章 税効果会計			3
総合問題 (第4編)			
第5編 財務諸表の活用	(1) 財務会計の概要	213～238頁	
第31章 財務諸表のディスクロージャー	ア 企業会計と財務会計の意義・役割		1
第32章 財務諸表分析	(4) 財務諸表分析の基礎		3
第33章 連結財務諸表のあらまし	ア 財務諸表分析の意義		3
総合問題 (第5編)	イ 財務諸表分析の方法		1
発展編 連結財務諸表の作成	(4) 財務諸表分析の基礎	239～255頁	
第34章 連結財務諸表の作成	イ 財務諸表分析の方法 ※上記の発展的内容		
総合演習 I	上記(1)～(4)	256～260頁	2
総合演習 II			2
ADVANCE	(1) 財務会計の概要 (2) 会計処理 (4) 財務諸表分析の基礎	261～268頁	4
		計	105



# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-34	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 728	新財務会計 I		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
239 ~ 255	発展編 第 3 4 章 連結財務諸表の作成	1	内容-「財務会計 II」(4) 企業集団 の会計・連結財務諸表の作成につい て、基礎的な部分のみを取り扱う。	17
合計				17